

Press Information

2006-03-02
No.06-03

曙ブレーキ工業(株)

ア ケ ボ ノ コ ー ポ レ ー シ ョ ン ノ ー ス ア メ リ カ
北米統括会社 AKEBONO CORPORATION (NORTH AMERICA)
の本社機能移転に関するお知らせ

曙ブレーキ工業株式会社（代表取締役社長：信元久隆 本店：東京中央区 本社：埼玉県羽生市）の北米事業統括会社であるAKEBONO CORPORATION (NORTH AMERICA)は、3月1日午前10:00（現地時間）に、下記の内容を発表いたしましたので、お知らせいたします。

AKEBONO CORPORATION (NORTH AMERICA)（以下ACNA）は2006年に北米本社機能をミシガン州ファーミントンヒルズからケンタッキー州エリザベスタウンに移転します。これは自動車業界におけるさらなる地位の確立と勝ち残りの施策のひとつとして行うものです。

この移転計画にあたっては、下記のような課題を検討いたしました。

- いかにより最善のサービスを提供し、顧客満足度をあげるか。
- それを行うためにはどの場所が最適か。
- ACNAとほぼ同規模の会社組織で、昨年8月に100%子会社化した^{アムブレーキ}AMBRAKE ^{コーポレーション}CORPORATIONとの機能の重複を排除し、いかに効率を上げるか。
- 上記の課題を達成するにはどのような行動をとるべきなのか。

これらの課題を慎重に検討した結果、2006年2月21日、ACNAの取締役会において、ACNAの本社機能をケンタッキー州に移転することを決定いたしました。ミシガン州ファーミントンヒルズから移転する機能は経営層、財務、調達、OEM営業、補修品営業となります。なお、補修品営業については、ケンタッキー州スプリングフィールドにある補修品グループに移管する計画です。この移転に伴い、ファーミントンヒルズの従業員48名が異動する予定です。

なお、R&D、エンジニアリング、および人事とOEM営業の一部は引き続きファーミントンヒルズに拠点を置きます。

2006年2月28日には、ミシガン州ファーミントンヒルズにあるACNAの従業員に対して今回の移転を説明いたしました。この移転に伴いケンタッキー州に異動することになる従業員の雇用は継続します。

自動車業界はこれまでにない激しい変化の中におり、激化するグローバルレベルでの競争、また、お客様からの価格に対する厳しい要求に直面しておりますが、この変化は一過性のものではなく、今後も続く根本的な課題でもあります。

変革期においては勝ち残りのために、ビジネス戦略の変革が必要であり、多くの課題を解決する必要があります。こういった挑戦課題に対しグラスゴー、エリザベスタウン、スプリングフィールド、ファーマントンヒルズに広がるakebonoグループ全従業員の求心力を強め、グループとしての一体感を高めることの必要性から今回の移転を判断いたしました。

北米事業はこれまでの20年間の成功をベースに、さらなる飛躍と発展を実現するために、akebonoグループ一丸となって新たな挑戦に挑んでまいります。

Carl Lay
Vice President
Corporate Relations
ACNA
